

【学校だより】



はるなつめ

第 12 号

令和 8 年 10 月 8 日 (木)

長崎市立川原小学校

校長 神 田 学

『一人一人が輝き、笑顔あふれる学校 ～ 子どもも教師も輝く学校 ～』

交流デー・複式教室



9月29日(火)は「交流デー」でした。上の写真は、全校で給食を食べている様子です。現在川原小は全校34人です。ご存じのように、1学級にこのくらいの児童がいる学校は多くあります。他の学校の子もたと同様に、多人数で食事をする経験ができるように、全校給食を計画しました。この教室は、昨年度、3階6年生の教室だったところです。本年度は第2家庭科室(ランチルーム)として活用しています。

下の写真は、同じく「交流デー」において、全校で話し合い活動をした時の写真です。



普段の各学級の学級会は、5人～15人程度での話し合いです。このような機会を通して、多人数での話し合い活動を経験させることは、本校の児童にとって意義のある学習活動だと考えております。

このような工夫した「交流デー」は、本校独自の取組です。児童数や職員数が少なくなっている中で、職員が様々に知恵を出し、他校にない工夫した取り組みを実現できています。第2家庭科室に、机を新たに6台導入したのですが、この6台は、9月13日に本校職員2名が自分でトラックを4時間ほど運転し、他校から譲り受け搬入し、全職員の職員作業で設置できたものです。

また、9月28日(火)の「交流デー」までには、全担任で、全校での話し合い活動や全校での給食をどのように実施するかを職員で検討を繰り返し実現できました。



上の写真は、2・3階それぞれに設置した複式専用教室です。夏休み中に工事を終え、2学期から授業を実施しています。2年前から市教育委員会と協議を続け、このたびこの教室が実現できました。背面や側面の棚やそうじ道具入れを撤去し、広い学習スペースを確保しています。他にも複式学級がある長崎市内の公立小学校があるのですが、他校にない教室です。本校に大きな費用をかけていただいた市教育委員会に感謝しているところです。それは、少しでもよりよい環境で子どもたちに学習をさせたいという本校職員の思いの賜物でもあると思っています。

現在、この教室で複式授業を実施しているのですが、授業をするためには、2学年分の指導計画案をどのように1時間に組み込むか考えなければなりません。1学年だけでも様々な教育的配慮を考えなければいけないのですが、それを2学年同時に決められた授業時間内に組み込むための準備に多くの時間や工夫が必要です。職員による授業研究(校内研究)を定期的に行っているのですが、9月中も実施しました。授業研究では、例えば、30人の学級であれば、児童の多様な考えが生まれやすいのですが、少ない人数ではお友だちの多様な考えを知る機会が少なくなる場合もあります。自分の考えや学習の成果を発表する相手も少なく、発表に対する意見をもらうことが難しい状況にもあります。そういった課題をいかに克服し、授業を組み立てていくかなどを話し合っています。

昨年度から小体会の在り方がかわり、一昨年度までは、連日小体会の練習等があり、9月～10月半ばまでは、放課後の時間があまりなかった状況でしたが、今年は、以上紹介しましたように、職員が時間をかけて様々な教育活動の準備や計画をし、取り組んだ月となりました。

11月はココロねっこ運動強調月間です!



<11月の行事予定>

2日(月)委員会活動

7日(土)まちづくりアイデアコンテスト(市役所)

…本校6年児童が市内20名の1人として
選ばれ、市役所において発表(プレゼン)します。

11日(水)図書月間スタート(～12月10日)

12日(木)小音会1～4年出場

…(5・6年給食なし、12:40頃下校)

13日(金)交流デー

18日(水)図書集会

19日(木)1・2年あそびの杜幼稚園交流

3～6年アウトリーチコンサート(6校時)

20日(金)1・2年いもほり(雨天25日へ延期)